



《鏡の中》1972年、JEANS FACTORY 蔵

### 展覧会基本情報

会期：2022年11月3日（木・祝）～2023年1月15日（日） 68日間

※12月27日～1月1日は休館

時間：9:00～17:00（入場は16:30まで）

観覧料：一般前売 960円・一般 1,200円（960円）・大学生 850円（680円）・高校生以下は無料

※（ ）内は20名以上の団体割引料金。※年間観覧券所持者は無料。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料。

主催：高知県立美術館（公益財団法人高知県文化財団）、高知新聞社、RKC高知放送

後援：高知県教育委員会、高知市教育委員会、NHK高知放送局、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送

助成：芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団

特別協力：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団・三鷹市美術ギャラリー

協賛：JEANS FACTORY

## 1. 本展の見どころ

### ① 作家の出身地で開催する、没後初の大規模回顧展

本展は合田佐和子の没後初にして、およそ20年ぶりとなる待望の回顧展です。当館では2001年に「森村泰昌と合田佐和子展」で紹介して以来の大規模展となります。

※本展は三鷹市美術ギャラリーに巡回します（会期：2023年1月28日～3月26日）。

＼高知だけの特別展示！／

1970年代初頭の合田の生活を活写した久里洋二監督によるドキュメンタリー「芸術家の生活と意見—合田佐和子」（1973年、35mm、30分、カラー）を展示室内で上映します。

### ② 出品作品・資料点数は300点余り。さまざまなメディアを横断、変化し続けた作家の軌跡を追う

廃品を組み合わせた「オブジェ人形」、蛇や人体のパーツをモチーフにしたエロティックで奇怪なオブジェ、写真を見ながら描くスタイルによる絵画、ボディ・メイクを施した親しい間柄の人々を捉えたボラロイド写真—次々と異なる表現メディアを開拓した合田は、70～80年代にかけて若者からの支持を集めました。また、夫であった美術家の三木富雄（1937～78年）をはじめ、60年代の前衛美術運動を牽引した作家たちと近い距離感で活動しながらも、美術界の流行からは距離を置き、独自のスタイルを貫きました。本展では、個人・公立美術館収蔵の代表作から遺族宅に残されていた未公開作品まで、初期から最晩年までを含む300点余りの作品と資料を通して、その作風や思考の変遷を辿ります。

### ③ 詩人・白石かずこの影響関係の検証により、初期の活動に新たな光を当てる

65年から70年代にかけての合田の初期活動に多大な影響を与えた人物が、詩人の白石かずこ（1931～）でした。白石は自らのセクシュアリティを肯定し、保守的なジェンダーロールを覆す数々の言動によって当時の若い女性たちからカリスマ的な人気を誇っていました。白石との交流は、合田が挿画を手がけた白石の詩集『性宇宙』（1970年）といったコラボレーション・ワークのみならず、合田の制作や生き方そのものにも多大な影響を与えます。本展では最新の研究に基づき、当時の雑誌資料等の展示を通して両者の関係性を検証することで、合田の初期活動に新たな角度から光を当て、その制作がいかに同時代性を持つものであったのかを探ります。同時に、女性作家の活動が注目されるようになった昨今において、メディアの仕事を積極的に引き受けた合田のありようは、ひとつのケース・スタディとなるでしょう。

### ④ アングラ演劇の雄、唐十郎と寺山修司とのコラボレーション・ワークも紹介

合田は日本のアングラ演劇を代表する2つの劇団「状況劇場」の唐十郎と「天井桟敷」の寺山修司と協働し、公演の「顔」となるポスターの原画や妖しい魅力に満ちた舞台美術を数多く手がけました。ポスターはもちろん、その原画となった油彩画のほか、本展初公開となる舞台の美術セット（書き割り）の構想画などの展示を通し、合田の仕事の奥行きを探ります。

## 2. 展示構成

合田の制作は1985年の1年にわたるエジプト滞在を機に内省化の兆しを見せ、作風もそれまでの退廃的な雰囲気からは一転、光と色彩に満ちた独自の内的世界を感じさせるものとなりました。本展ではそのことを踏まえ、1940年の出生から85年の前半生を第1部、86年から2016年に逝去するまでの後半生を第2部とする2部構成で、作家の歩みをご紹介します。

### 第1部 1940～1985年

#### 1-1 焼け跡からの出発

##### 主な出品作

《Watch-Angels》(1964年)、《お庭番》(1968年)、《極彩色のタマゴ》(1967年)、  
《母になったミュータント》(1970年)

#### 1-2 妖しき絵姿

《もの思うベロニカ》(1972年)、《鏡の中》(1974年)、《ワニ》(1974年)、《ジョン・クロフォード1931》(1975年)

#### 1-3 演劇・映画の仕事—唐十郎と寺山修司とのコラボレーション・ワーク

《おちよこの傘持つメリー・ポピンズ》※劇団状況劇場の公演ポスター原画(1976年)、  
《中国の不思議な役人》※演劇実験室天井桟敷のポスター原画(1977年)、《中国の不思議な役人舞台原画資料》(1977年)

#### 1-4 変化、模索—ポラロイド写真、スケルトン・ボックスを中心に

《ナイトクラブング》(1977年)、《プレイボーイ》(1981年)、「スケルトン・ボックス」シリーズ



左《お庭番》森田一朗氏蔵  
右《極彩色のタマゴ》ギャラリーセラール蔵

### 間章 エジプト体験

1985年のエジプト滞在中に撮り溜めた写真等の資料展示

### 第2部 1986～2016年

#### 2-1 「シュールレアリスム(12進法)」時代の幕開け

《眼玉のハーレム》(1987年)、《青いまなざし(リアン・ギッシュの眼)》(1988年)

#### 2-2 「レンズ効果」

《ばらの天地創造》(1997年)、《シリウスの小包み》(1999年)\*7、《ロゼッタ・ギャラクシー》(2000年)、《90度のまなざし》(2003年)

#### 2-3 色えんぴつのダンス

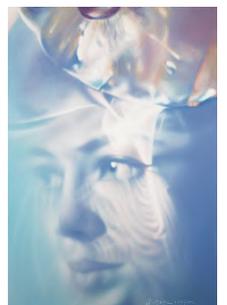
《いちじくの受難》(2011年)、《校章(色鉛筆のスクエアダンス)》(2013年)



《プレイボーイ》  
個人蔵



《中国の不思議な役人》  
個人蔵



《シリウスの小包み》  
宮内正幸氏蔵

**3. 関連企画** ※イベントは今後変更となる可能性があります。

**11月3日（木・祝）の開館記念日は入場無料！**

トークイベント

① 本展企画者によるクロストーク「合田佐和子展が実現するまで」【参加無料】

展覧会を企画した学芸員による対談形式で、本展の企画趣旨から展示制作の裏話までをお話しします。

登壇：塚本麻莉（当館学芸員）、富田智子（三鷹市美術ギャラリー 学芸員）

日時：11月3日（木・祝）13：00～14：30

場所：美術館ホール（申込不要、先着順）

② 学芸員によるギャラリートーク【要観覧券】

日時：11月3日（木・祝）15：00～

12月18日・2023年1月8日・1月15日（全て日曜）13：30～

③ ゲストレクチャー「戦後の前衛—合田佐和子と同時代の女性美術家たち」【参加無料】

講師：小勝禮子（近現代美術史、美術批評）

日時：11月6日（日）14：00～

場所：1階 講義室

定員：50名程度（申込不要、先着順）

④ サタデーレクチャー「合田佐和子を語り直す」【参加無料】

講師：塚本麻莉（本展企画者、当館学芸員）

日時：11月26日（土）14：00～

場所：1階 講義室

定員：50名程度（申込不要、先着順）

---

映画上映会

① 無声映画×ライブ演奏&秋の定期上映会「合田佐和子が描いた銀幕のスターたち」

※ 上映ラインナップや料金、上映時間などの詳細は、当館ウェブサイトやチラシなどで後日発表します。

◆無声映画×ライブ演奏付

日時：11月17日（木）、18日（金）

会場：美術館ホール

演奏者：坂田明、大友良英、勝井祐二、山本達久、武田理沙

料金：プログラム券 前売 3,000円、当日 3,500円

◆秋の定期上映会

日時：11月19日（土）・20日（日）

会場：美術館ホール、料金：プログラム券 前売 1,000 円、当日 1,200 円

② 大木裕之監督「優勝—Renaissance」&JEANS FACTORY CM 上映

（監督：大木裕之／1995-98年／88分／制作：JEANS FACTORY）

四万十町でロケを行い、合田も出演した大木裕之監督（1964～）による作品「優勝—Renaissance」と、大木が90年代に制作した「JEANS FACTORY」テレビCM（全35本、12分程度）を特別上映します。上映後には、監督本人によるトークを行います。

日時：12月11日（日）13：00～

会場：美術館ホール、料金：500円

協力：JEANS FACTORY

③ 「上海異人娼館 チャイナ・ドール」R18+

（監督・脚本：寺山修司／1981年／91分／カラー／出演：イザベル・イリエ、クラウス・キンスキー、ピーター、山口小夜子、高橋ひとみ、アリエル・ドンパール、新高けい子、大野美雪、中村研一、石橋蓮司）

合田が美術を手掛けた寺山修司監督映画「上海異人娼館」を上映します。※18歳未満の方は鑑賞いただけません

日時：12月11日（日）17：00～

会場：美術館ホール、料金：500円

---

スペシャルワークショップ「イメージをあそぶ」

合田とも親交があった大月ヒロ子さんをお招きし、箱の中にコラージュを作るワークショップを開催します。さまざまな素材を組み合わせ、新しいイメージを楽しんでみませんか。

日時：①12月3日（土）13：00～

②12月4日（日）10：00～

※各回3時間程度を予定しています

講師：大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー）

場所：1階 講義室

定員：各回 先着30名

対象：小学生以上のお子さまから大人の方

参加費：1名500円

〔要予約〕10月10日（月・祝）より電話（088-866-8000／9：00～17：00）にて受付します。

## ティーチャーズ・ウィーク

日程 11月20日（日）～11月26日（土）

期間中、高知県内の教職員の方（図工や美術以外も含む）は本展およびコレクション展、「ARTIST FOCUS #03 角田和夫」展を無料でご観覧いただけます。希望者には学校での美術館利用についてのご相談も受け付けています。

[要予約] 11月19日までにお電話（088-866-8000／9：00～17：00）にてお申込ください。

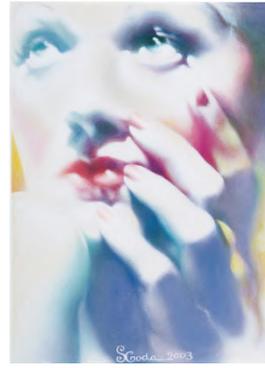
### 4. 広報用図版

展覧会広報用に下のリストの作品画像データを貸出いたします。ご希望の方はお問い合わせください。

合田佐和子《Watch-Angels》1964年、 高知県立美術館蔵	
合田佐和子《極彩色のタマゴ》1968年頃、 ギャラリーセラー蔵	
合田佐和子《もの思うベロニカ》1972年、 森田陽司氏蔵	

<p>合田佐和子《マレーネ・ディートリヒ》1973年、ギャラリーセラー蔵</p>	
<p>合田佐和子《鏡の中》1974年、JEANS FACTORY 蔵</p>	
<p>合田佐和子《ワニ》1974年、JEANS FACTORY 蔵</p>	
<p>合田佐和子《ばらの天地創造》1997年、高知県立美術館蔵</p>	
<p>合田佐和子《ロゼッタ・ギャラクシー》2000年、個人蔵</p>	

合田佐和子《90度のまなざし》2003年、  
横山知雄氏蔵



【掲載についてのお願い】

- ・掲載時には、正式な展覧会名と会期の表記をお願いいたします。
- ・作品画像の掲載時には、キャプションとクレジットの明記をお願いします。
- ・掲載記事やVTRは展覧会開催の資料として保存しますので、若干部ご恵与ください。
- ・取材や収録などは、必ず事前にお問い合わせください。都合によりご希望に添えない場合もあります。